

【記入例】

令和4年度 就学援助費支給申請書兼同意書

様式1

該当する申請区分に○を付ける

(要保護・準要保護・被災(大震災))

いわき市教育委員会

次の理由により就学援助を申請します。

学校に提出する日

令和4年 3月18日

住所 いわき市 平字堂根町4番地の8

申請者氏名 堂根 町子
(保護者)

☎(22 - 2222)

学校名

学校名を記入

堂根小

学 校

申請児童生徒	学 年	申請児童・生徒氏名	性別	続柄	生年月日	年齢	前年度申請
	4 年	フリガナ ドウネ イチロウ 堂根 一郎	☒ 男 ☐ 女	長男	H24・11・3	9	☒ 有 ☐ 無
	1 年	フリガナ ドウネ ジロウ 堂根 二郎	☒ 男 ☐ 女	次男	H27・6・28	6	☒ 有 ☐ 無

新学年で記入

申請者からみた続柄を記入

申請年月日(右上の年月日)時点の年齢を記入

⇒上記申請児童生徒のうち、1年生については、次の項目も記入してください。

☒入学前に受領している⇒支給自治体 ①いわき市 ②他自治体()☐入学準備金について、☐入学前に受領していない

他自治体で入学前に受給している場合は自治体名も記入

世帯構成 ※同居等の方は全員記入 (申請児童生徒を除く)	番号	フリガナ氏名	続柄	生年月日	年齢	職 業	勤務先 又は 学 校 名	収入 (給与等・年金・恩給・学費等)	有無	病名・期間
	1	ドウネ マチコ 堂根 町子	本人	S60・8・8	36	☐ 正規職員 ☒ パート・アルバイト ☐ 無	(株)梅本	月額 80,000 円	☒ 有 ☐ 無	無
	2	ドウネ タロウ 堂根 太郎	父	S29・7・20	67	☐ 正規職員 ☐ パート・アルバイト ☒ 無		月額 100,000 円	☒ 有 ☐ 無	無
	3	ドウネ ハナ 堂根 ハナ	母	S32・1・30	65	☐ 正規職員 ☐ パート・アルバイト ☒ 無		月額 0 円	☒ 有 ☐ 無	無
	4					☐ 正規職員 ☐ 非正規 ☐ 無		月額	☐ 有 ☐ 無	
	7					☐ 正 ☐ 非正規 ☐ 無		円	☐ 有 ☐ 無	

同居している方はすべて記入。
また、住居を別にしていても、生計同一である場合も記入。

この世帯の場合、この3名の方の所得が確認できる書類が必要です。

【注意点】

- 申請書は、通学している学校ごとに作成してください。
- 申請児童生徒の欄は、就学援助を希望している児童生徒名を学校ごとに全員記入してください。
- 世帯構成の欄には、生計の別にかかわらず、同居している方全員を記入してください。
(生計が別であっても認定審査の際に除外することはできません。)
また、生計は同一であるが、単身赴任等で住居を別に行っている方も記載してください。
- 小学1年生・中学1年生のお子さんについて、前年度に入学準備金の支給(他自治体から転入された方は転入前の自治体での支給)を受けているかどうかチェック欄に記入してください。支給を受けていない場合に限り、新入学学用品費を支給します。
- 申請内容に虚偽があった場合、書類を受け付けることが出来ないほか、認定後に発覚した場合には認定を取消すこととなり、既に支給した就学援助費の返還を求められますので、ご注意ください。

【同意書】

私は、転出入や転入学による支給状況確認のため、必要に応じていわき市教育委員会が他市町村と支給情報の受渡しをすることに同意します。

申請者(保護者)氏名

堂根 町子



【世帯全体の状況】

この調査は、就学援助費の受給認定のためだけに行うことを申し添えます。

また、審査事務に当たり、情報の一部を地域の民生児童委員に提供することがあります。

申請理由はどちらか当てはまる方のみ記入して下さい。

◆東日本大震災により被災していない方(通常の就学援助)

次の項目で該当するものを○で囲んでください。

申請理由

- (1) 生活保護を受けている。※生活保護受給者の方は修学旅行費のみが対象となります。
- (2) 生活保護の廃止措置を受けている。
- (3) 母子・父子家庭又は障害者で、令和3年の所得が125万円以下で市民税が非課税である。
- (4) 特別の事情によって市民税の減免を受けている。
- (5) 特別の事情によって個人事業税の減免を受けている。
- (6) 特別の事情によって固定資産税の減免を受けている。
- (7) 国民年金の掛金の減免、国民健康保険の保険税の免除又は徴収の猶予が認められている。
- ☒ (8) 児童扶養手当の支給を受けている。
- (9) 生活福祉資金の貸付決定を受けた。
- (10) 職業安定所登録の日雇労働者である。
- (11) 上記(1)～(10)には該当しないが、その他特別な理由で経済的に子供を就学させるのが困難。

※ 家庭の状況等、今回、申請に至った経緯を記載してください。

就学困難な状況等を具体的に記入してください。

例)離婚に伴い母子家庭となりましたが、養育費は一切受け取ることができず、収入も低いため、生活が厳しい状況です。同居している両親も年金生活で余裕はなく、私一人の収入と両親の年金だけでは、子ども達の養育費の支払いが困難な状況であることから、就学援助を申請いたします。

東日本大震災の被災による就学援助は、新規の申請受付を終了しておりますので、希望される方は通常の就学援助制度で申請してください。

◆東日本大震災により被災された方(被災による就学援助)

東日本大震災の被災による就学援助は、令和3年度に認定を受けた方のみが対象です。

申請理由

次の項目で該当するものを○で囲んでください。

- (1) 災害当時いわき市に居住しており、居宅が全壊の認定を受けている。
- ☒ (2) " 大規模半壊の認定を受けている。
- (3) " 半壊の認定を受けている。
- (4) 災害当時いわき市外に居住しており、居宅が全壊したことにより本市へ避難した。
- (5) " 原子力災害により本市へ避難した。

※ 被災の内容や仕事への影響など、今回、申請に至った経緯を記載してください。

就学困難な状況等を具体的に記入してください。

例)震災による津波で自宅が大規模半壊の罹災判定を受け、一時的に引っ越しを余儀なくされました。自宅の修繕にも多額の費用がかかったため、生活が非常に苦しいです。子ども達のこれからの養育費の支払いが困難な状況であることから、就学援助を申請いたします。

この申請書に記入いただいた情報及び添付書類は、申請内容の審査以外の目的では利用いたしません。